

AI Factory as a Service

サービス紹介資料

合同会社デロイト トーマツ

AI Factory as a Service Beyond Imagination, Accelerate a New Era.

想像を超えて 新時代を加速させよ

いま、世界では、AIの技術革新が加速的に進み、
AIがもたらす多くのブレイクスルーが、企業経営に大きなインパクトを与えています。
それは、ビジネスへのAIの適用が企業の競争力に影響する、時代の到来を意味します。

新たな時代を駆け抜けるのか、取り残されるのか。
誰もがイノベーターとなり、新たな未来を切り開くことができるのです。

デロイト トーマツのAI Factory as a Serviceは、
企業のAI導入を加速させ、想像を超えた変革へと導く、
AIのプロフェッショナルサービスです。

AI導入のプロセスすべてを可能にするAI・データ基盤と、コンサルティングサービスで
ブレイクスルーを実現し、企業経営へのインパクトを共に創出していきます。

私たちデロイト トーマツは、AIのエキスパートとして
企業がAIを活用し、成長と成功をできるよう全力で支援します。

INDEX

1.AI技術の進展とビジネスへの影響	04
--------------------	--------------------

2.AI導入の課題とリスク	08
---------------	--------------------

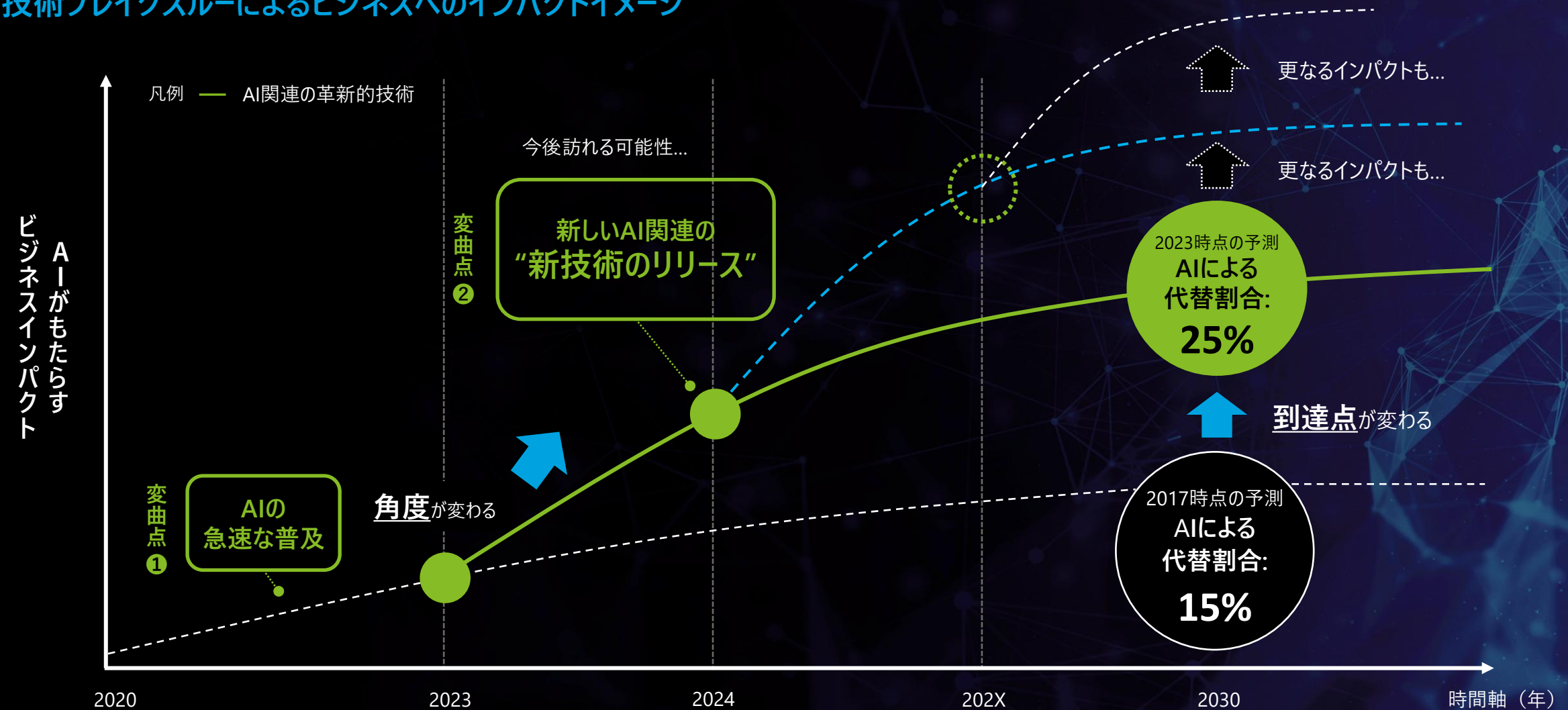
3.デロイト トーマツのAI導入支援ソリューション	11
---------------------------	--------------------

4.デロイト トーマツにおけるAI活用実績	20
-----------------------	--------------------

1. AI技術の進展とビジネスへの影響

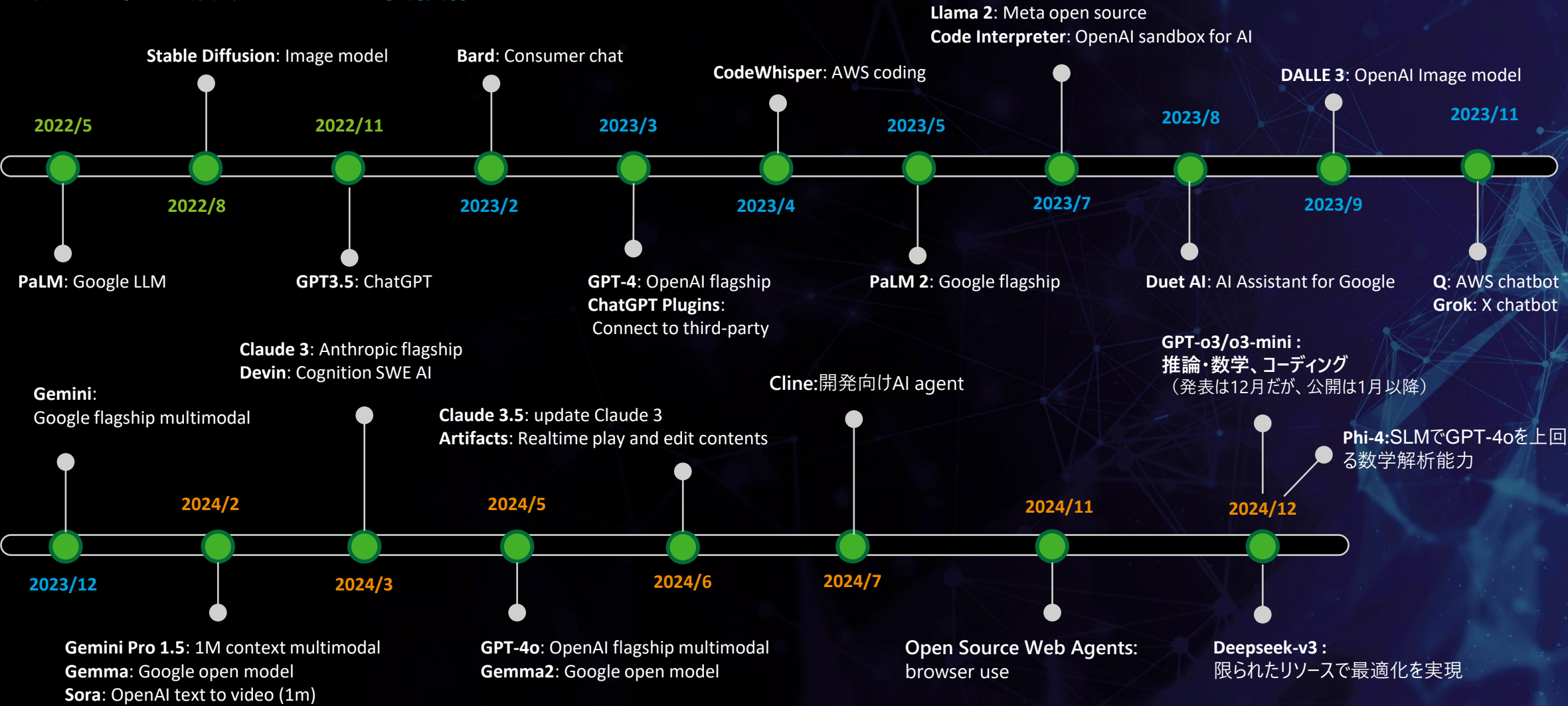
新技術のリリースは各業界の業務やビジネスモデルに大きなインパクトを与えることが期待されており、その影響度は急速に増加していくと予想されます

技術ブレイクスルーによるビジネスへのインパクトイメージ



生成AIの領域では、多様なプレーヤーによって汎用型や特化型、大小さまざまな規模のAIモデルが登場しており、非常に高頻度で新しい生成AI技術がリリースされています

生成AIの関連領域における主要技術リリース



AIは様々な業界での業務・課題へ貢献できる高い汎用性と有用性を有していることから、AIのビジネスへの適用が企業の競争力に直接影響することが考えられます

各業界における生成AIユースケースマップ

	エネルギー・資源・工業	金融サービス・保険	行政・公共サービス	テクノロジー・メディア・通信	ライフサイエンス・ヘルスケア	コンシューマー
音声	フィールドバーチャルアシスタント フィールドエージェントがハンズフリーのまま で自然言語を使用して、ベストプラク ティスや修理情報にアクセスできるように 支援する	リテールバンキング業務支援 顧客の申し込み、質問、交渉などを含む 複雑なリテール業務に人間同様の支援 を提供する	行政・公共サービス支援 行政サービスや学生向け情報のオンデマ ンドアクセスの際に、自然言語で支援する	翻訳・字幕・説明文 音声を多言語に翻訳（例：字幕の生 成など）し、ビジュアルメディアコンテンツ に説明文を提供する	フォローアップの自動化 臨床メモを取り込み、フォローアップが必要 な患者を特定し、フォローアップのスケジュ リングや健康習慣を促すために送信可能 な音声メッセージを作成する	会話型リテール 特定のブランドやカテゴリーに特化した小 売店において、人間型チャットボットを 使い、詳細な商品サポートやガイダンス を提供する
コード	ノーコードな物理学ベース環境 研究者が、天候、流体力学、環境の高 度な計算ができる正確な物理学ベースモ デルを作成することができる	データベース検索 SQLなどのデータベース言語の代わりに 自然言語を使用して、特定の項目やイ ンサイトを見つけるために大規模金融 取引データベースを処理する	ナレッジ管理 公務員が、自然言語を介して画像・動 画・テキストファイルから大容量非構造 化データのクラスター分け、検索、絞り 込みを行う	オリジナルゲームの制作 斬新なコンピューターゲームやビデオゲ ームの概念化やコーディングを行い、ゲ ームテストのプロセスを促進させる	臨床試験データの処理 研究者がデータをクリーンアップし、自然 言語を使用して臨床試験や承認プロセ スのためのグラフやインサイトを生成す ることができる	高速マーケティング マーケティング担当者が自然言語のスピー ドでウェブサイトや外部向け販促用品を 作成し、新製品やサービスをより速く市 場に投入できるよう支援する
画像	新製品開発 新製品開発と修理を支援するため、 工業製品や部品の詳細な図解を作成 する	不正検知 クレジットカード認証などの分野において 社内不正モデルを強化するために顧客 の署名を生成し、不正が発生しやすい 箇所をとりまとめる	公共事業計画の改善 自然言語を使用して詳細な計画を 作成し繰り返すことによって、公共事 業の策定プロセスと計画自体を強化 する	半導体チップの設計 性能パラメータに基づき設計を反復・強 化し、開発ライフサイクルの期間を短縮 する	医療用画像の改善 医療用合成画像を多数生成し、画像 処理アルゴリズムを学習させることで、異 常の特定や臨床医が問題を発見するた めのトレーニングを行う	商品写真と詳細 新製品や既存製品の詳細や非常に リアルな写真を様々な環境で作 成する
文章	技術文書の要約 詳細な文書から情報を抽出し、フィール ドレポートを特定のフォーマットに合成す る	カスタマーデューデリジェンス報告 KYCプロセスなど、新規顧客に関するレ ポートを作成し、顧客のオンボーディングに 係るアクションや意思決定に従業員が行 えるようにレポートのサマリーを作成する	ケースファイル管理 複雑な政府機関のケースファイルを解 析し有用な詳細情報を見つけ、迅速 に理解できるように要約・レポート作 成を行う	サイバーセキュリティ脅威の検出 マルウェア、異常、潜在的な脅威につ いて、リスクの高い領域をまとめ、脅威 を検出し、エグゼクティブレポートを作成 する	病歴概要の作成 電子健康記録（EHR）の臨床メモか ら、患者の人口統計、病歴、アレルギー、 投薬、その他関連する詳細を要約し、 病院での受け入れに役立てる	パーソナライズドスーパーマーケット 購入者 1 人ひとりにあわせた食事のブラ ンや買い物リストを、特定の店舗で入手 可能な商品の範囲で作成する
動画 （初期段階）	イベントの特定 エンドツーエンドの生産ラインのライブ動 画から情報を収集し、プロセスとイベント に関する特定の状況を検出する	保険金請求の根拠となる動画 保険金請求の根拠となる動画（例： 自動車衝突事故）を精査し、事故に 係る部分を抜き出した動画を新たに生 成する	市民生活支援 人間さながらのパーソナルアシスタントを 空港・車両管理局・国境警備局・出入 国管理事務所などの場所に設置する	バーチャルキャスター 言語や国境を越えてサポートできる人数 を十分に確保できないが需要の高いイ ベント（例：スポーツ生中継など）のため、 バーチャルなオンエアキャスターを作成する	デジタルセラピー デジタルセラピーやバーチャル環境で 必要とされるアセットのAR・VRコンテ ンツを生成する	CMブレンストーミング テレビCMやオンラインCMなど、生成された ビデオやビデオストーリーボードを使ったブ レンストーミングを速やかに行うことができ る
3Dモデル & データ	地質学的評価 石油探査や資源発見の可能性に関す るリアルデータと合成データの両方を評 価する	金融モデルの強化 金融モデルを改善・向上させるために合 成データを生成し、金融機関の流動性と プロセスにストレステストを行う	災害復旧および計画策定支援 計画策定と準備の補助として合成デー タ（例：交通データ、人口データ、what- ifシナリオ分析）を使用し、都市計画者 と災害復旧チームを支援する	通信ネットワークメンテナンス 合成データを使用してデジタルツインをト レーニングし、ネットワーク障害の特定と、 現場の技術者の復旧作業を支援する	新薬の創薬 タンパク質や生体分子の構造と機能を 生成し、新薬候補の創生を促進させる	素早い製品デザイン ユニークで忠実な製品モックアップの製作 を通じて、製品プロトタイプのライフサイ クルを早め、購買者の合成行動データを作 成する

Source: Deloitte US, “The Generative AI Dossier: A collection of industry specific use cases based on deep industry expertise, research, and expert interviews”

2.AI導入の課題とリスク

AI特有の高度な専門性や適切なROI設定、副次的に発生するリスクマネジメント・組織体制 改変など、複雑に様々な課題が発生し、AIのビジネス実装が阻害されるケースが多々あります

AI導入における課題

分類	課題	詳細
技術面	AI技術の不透明性	自社へ適合するAIソリューションやユースケースを選定することが困難なため、導入の意思決定ができない
	ベンダーロックイン	特定のベンダーのソリューションに依存しすぎると、将来的な変更や拡張が難しくなるリスクが生じる
	システム統合	AI・データ基盤と既存システムを統合するには、高度な専門性が求められる
	データ整備	構造化/非構造化データ含め自社データに対する価値を見出し、AI効果を最大化するためのデータ整備が必要
コスト	ROI創出	AIをRPAなどのDXツールと同様に扱い、ROIの効果を求めるが、リターンである業務工数の削減とAI構築費用が釣り合わない
	高額な導入費用	AI導入には外部ベンダー・人材及び構築費用が発生するため高額な初期コストが発生する
セキュリティ	データ保護	AI学習に伴う機密データや個人情報の保護、データ漏洩やサイバー攻撃からの防御策を講じる必要がある
	法規制対応	業界における法規制や自社のセキュリティポリシーの対応が不可欠
組織/人材	組織改編	生成AI起用に伴い、営業やバックオフィスなどにおける最適な人材配置・組織改編の推進が必要
	AI人材育成	AI利活用を促進する体制・仕組みづくりを自社にて知見・ノウハウを保持していないため自社リソースで対応できない

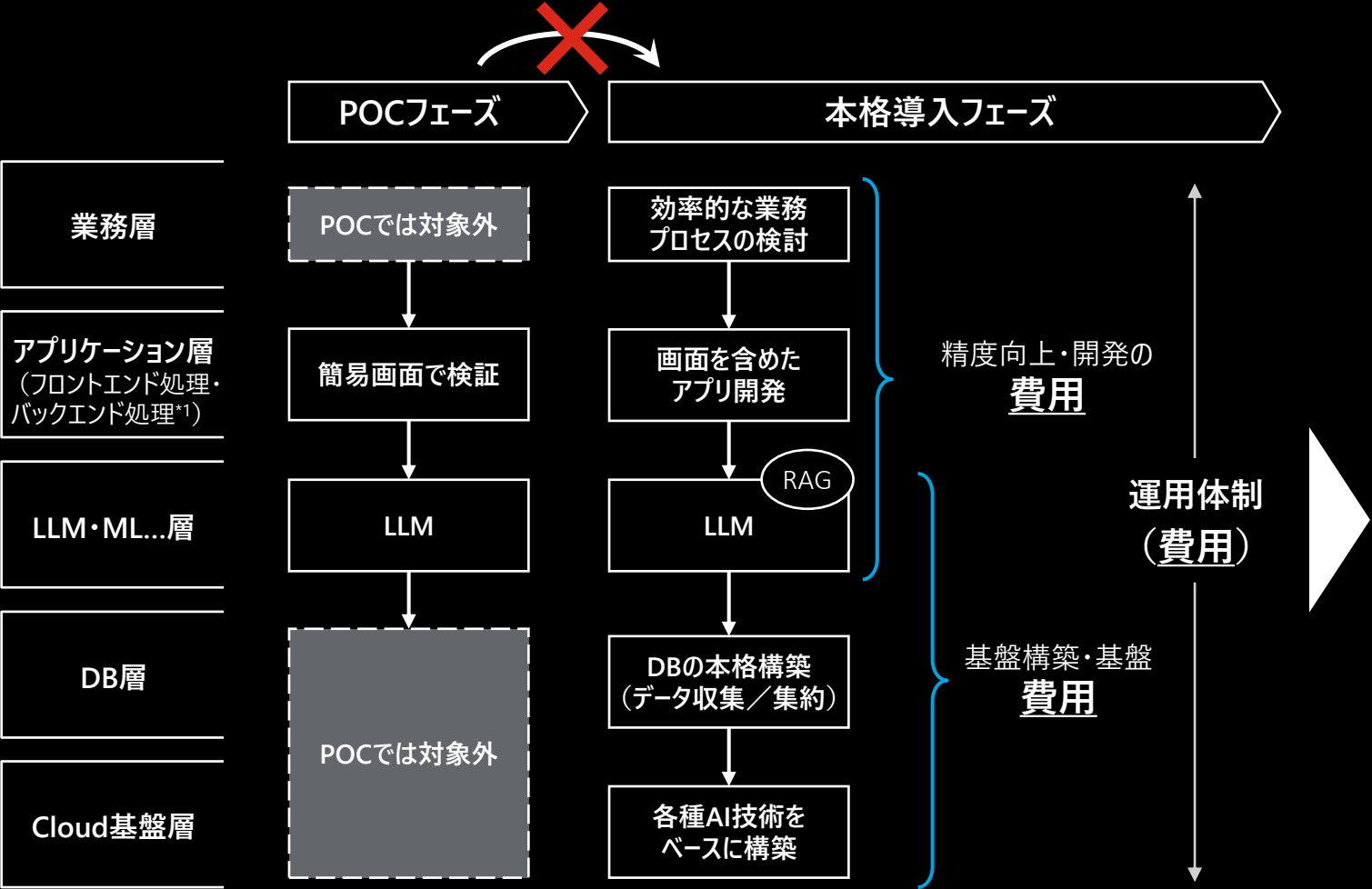


AI導入を阻む課題・リスク

- AI導入特有の高度な専門性
- 自社リソースとしての専門人材不足
- 最小限コストで最大限の成果を生むROI設計
- データ保護・整理などデータマネジメントが必須
- AIドリブンな組織改編/文化醸成
- AI使いこなし・活用浸透

特に多くのユーザー企業は、高額な導入コスト・困難なROI設計により、POCフェーズからAI本格導入フェーズへ移行できず、投資回収が達成できないケースが多く発生します

PoCから本格導入フェーズへの移行



何が本格導入を阻むのか？

高い導入コスト（人材不足含む）
部署単位の投資判断が難しい

技術検証論点が、高頻度の新規リリースで解決してしまう状況
何を自社開発するべきかの判断が難しい

不透明なビジネス上の価値
リターンが人件費の削減になりがちだが、実際のところ人件費削減は難しい。その場合、“何を目標”とするべきか？

様子見・部分的な導入により限定的な効果に留まる

*1：UIなどのフロントエンド処理やビジネスロジックやモデルへの入出力コントロールなどのバックエンド処理

3. デロイト トーマツのAI導入支援ソリューション

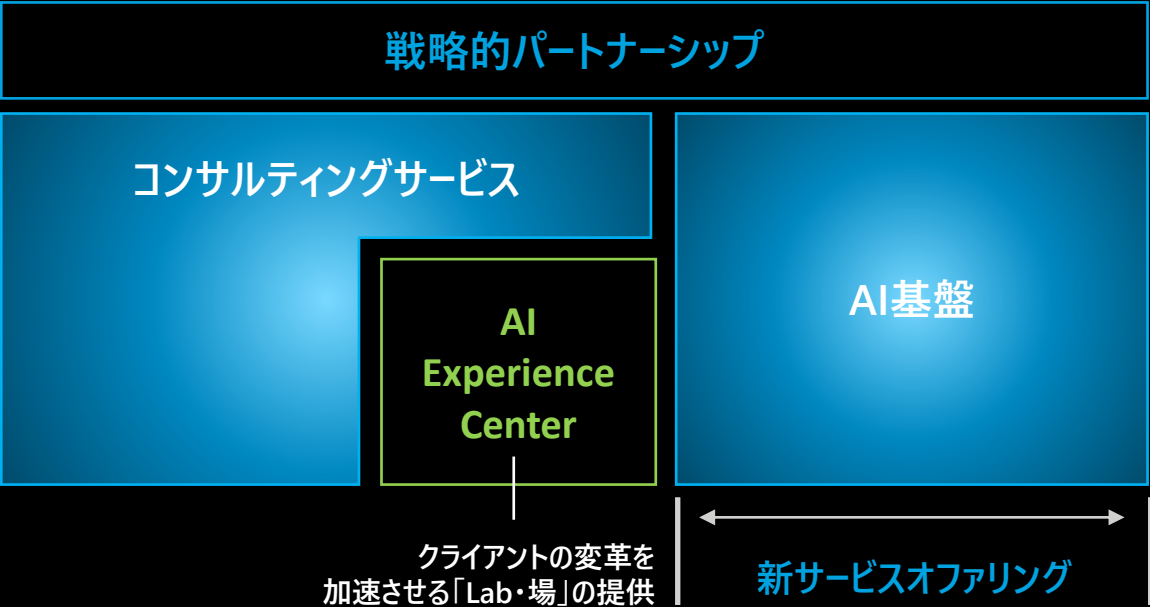
デロイト トーマツは、“AI環境の準備から運用”までの全てを可能とする「AI基盤」の提供と、AIのビジネス実装の効果を最大化する「AIコンサルティングサービス」を開始します

AI Factory as a Service

AI Factory as a Service

(以下AI FaaS)

デロイト トーマツがこれまで培ったAI技術・人材を基に立ち上げたAI基盤環境を顧客に提供し、効果刈り取りの実現に向けたAI導入の支援を加速



AI基盤

- デロイト トーマツで運用実績のあるAI基盤を活用
- 大型の初期投資不要で自社でのAI活用を開始
- デロイト トーマツで活用している生成AIアプリ（PPT自動作成等）を提供
- ご希望に応じて個社対応のアプリ、LLM、データを追加可能
- 自社ナレッジや業界データの登録、プライベートLLMによって業界や業務に特化したAIモデルが利用可能

コンサルティングサービス

- AI基盤導入を起点とし、業界特化のユースケース企画やプライベートLLM構築、トレーニング支援、組織改編など全方位的なAI活動を支援
- デロイト トーマツ及びアライアンス企業の技術力を活用し、クライアント別にカスタマイズされたサービス提供を実現

AI FaaSでは、AI基盤提供・AIコンサルティングサービスの提供により、AI投資活動における構想策定から企画・検証、AI開発まで一気通貫で支援し、迅速なAI導入を実現します

AI FaaS 支援スコープ

プロセス	検討事項/アクションアイテム				課題	AI FaaSによる効果・メリット
① 構想	現状分析	調達計画	セキュリティ評価		● 構想策定・高精度なKPIの設定・適切なリスク評価で高度な専門性が求められ、ハードルが高い	● デロイト トーマツの専門人材がAI活用の方向性を定め、リスクコントロール・ビジネスモデル変革に貢献 コンサルティングサービス
	目標・KPI設定	リスク評価				
② 企画	業界分析	要件定義	アーキテクチャ設計		● 自社に適合するユースケース企画・選定の難易度が高い ● アーキテクチャ設計やAIモデル選定へ投じる専門人材/コストが不足	● 業界トレンド・最先端ソリューションを収集したデロイト トーマツの知見から適切なアウトプットを提示 コンサルティングサービス
	ユースケース選定	AIモデル選定	UI/UX			
③ 検証	データ準備	テスト計画	パフォーマンステスト		● 新規環境の準備は初期コストがかかり、AI検証着手が遅れる要因となりうる	● 機能面・セキュリティ面が保証されたAI検証プラットフォームを提供し、効果的なAI検証を加速 AI基盤
	環境準備	ユーザーテスト	結果分析			
④ 本格導入	開発計画策定	データベース構築	UI/UX開発	セキュリティテスト	● 検証フェーズよりも高い構築費用・運用コストが発生するため、PoCから抜け出せず、投資コストの回収が困難に	● 低コストでの検証基盤提供、開発リードタイム短縮化を実現することで初期コストを抑えたAI導入のROIを創出 AI基盤
	業務プロセス整理	アプリ開発	AI接続基盤構築	LLM構築		
⑤ 運用保守・アップデート	機能修正	定期アップデート			● AI活用による効果最大化のために継続的なアップデート・追加開発が必要 ● AI利活用を実現するための法規制対応やトレーニングなどシステム導入以外の推進も要する	● デロイト トーマツの知見を集約し、全方位的にAI活動を支援 ● 構築後も継続的な保守・アップデートを対応 AI基盤 コンサルティングサービス
	問合せサポート	追加開発	トレーニング			

AI FaaSでは、PaaSやSaaSなどクライアントに最適なモデルにてAI基盤やAIアプリを提供しながら、AI導入効果を最大化する付加価値的なコンサルティングサービスを提供します

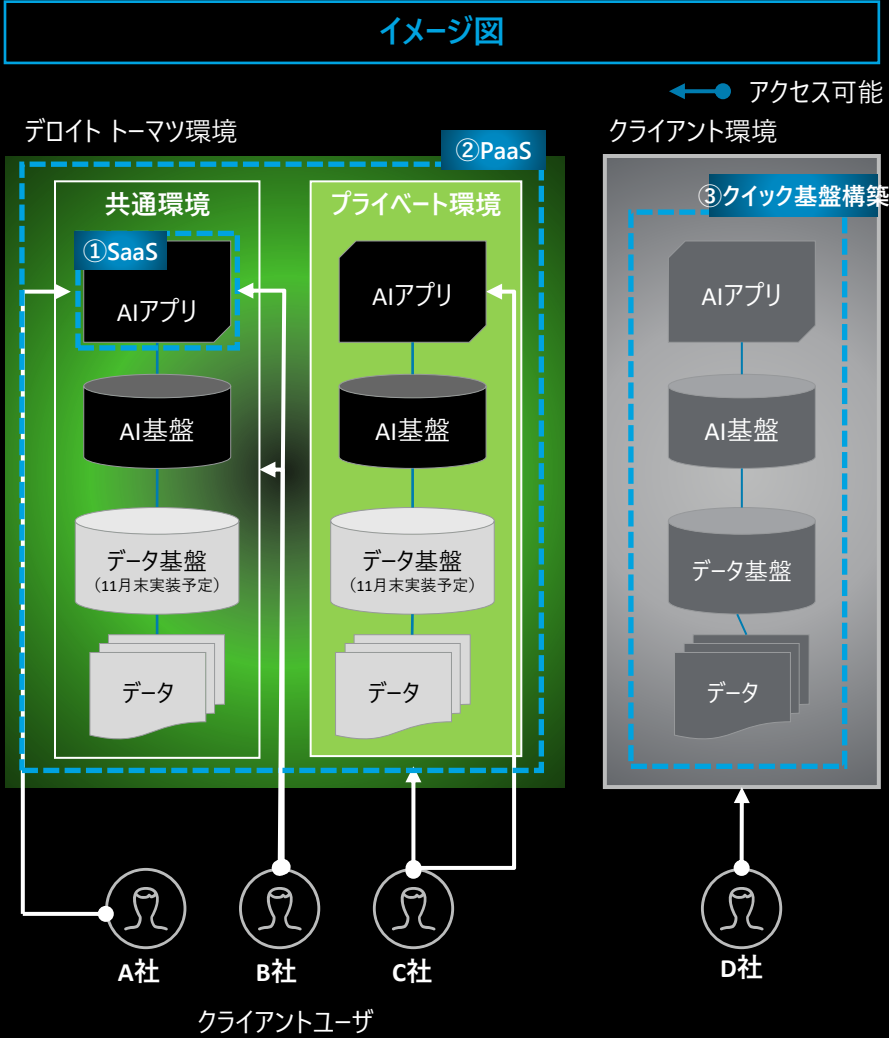
AI FaaSサービス詳細

提供モデル		提供内容	提供サービス例		提供サービス
AI基盤	SaaS	<ul style="list-style-type: none">デロイト トーマツにて機能・安全性を検証済みのAIアプリを早期導入大型な初期投資不要で社内のAI活用を開始運用費のみでデロイト トーマツの知見が集約されたプラットフォームを利用可能	コンサルティングサービス	業務・業界特化ユースケースの企画・開発	<ul style="list-style-type: none">経理、人事、サプライチェーン、製造、医療、金融、公共など特化ユースケースの企画、開発を支援
	PaaS	<ul style="list-style-type: none">PoC・AI検証を早期に実施できるAI基盤の提供生成AIアプリのデモ・PoC活動のスムーズスタートを実現個社開発アプリのホスティング環境を提供		組織移行・人材移行支援（チェンジマネジメント）	<ul style="list-style-type: none">AI活用後の組織の在り方、人材の在り方を定義し、移行計画の策定と推進を支援専用トレーニング：クライアントの従業員がAIを効率的に活用するためのe-Learningとワークショップを提供
	クイック基盤構築サービス（クライアント環境）	<ul style="list-style-type: none">AI基盤テンプレートを用いて、クライアント独自にカスタマイズ可能な環境を実現クライアント毎にカスタマイズされた、AI基盤の活用方法を教育するワークショップ、ケーススタディ等の実施データ戦略の立案から、AI活用シナリオの具体化、浸透までを支援		データ基盤構築 データオペレート	<ul style="list-style-type: none">連携データ基盤の構築と既存のクライアントシステムとのデータ連携構築を支援クライアントデータの分析・マネジメントによる資産利活用促進を目的としたデータOps機能を提供
		顧客向け プライベートLLM開発		<ul style="list-style-type: none">個人情報、クライアント内部の極秘情報を安全に取り扱うための個社向けLLMの開発・運用環境の提供とカスタムメイドLLMの開発を支援	
		統合オペレートサービス（XOps）の提供		<ul style="list-style-type: none">アプリケーション、AI・ML、データの鮮度を保つための総合Operate（XOps）サービスを提供	
		フリーミアムおよびマイクロサービス		<ul style="list-style-type: none">基本機能の無償提供（フリーミアムモデル） 特定機能（文書要約、データ解析など）をAPIベースで提供利用可能な有償のAPIサービスの提案	

導入コスト・開発リードタイム・自社の業務/機能要件・保有資産としての構築要否といった観点から、自社に最適なAIアプリ・検証基盤の提供モデルをご提案いたします

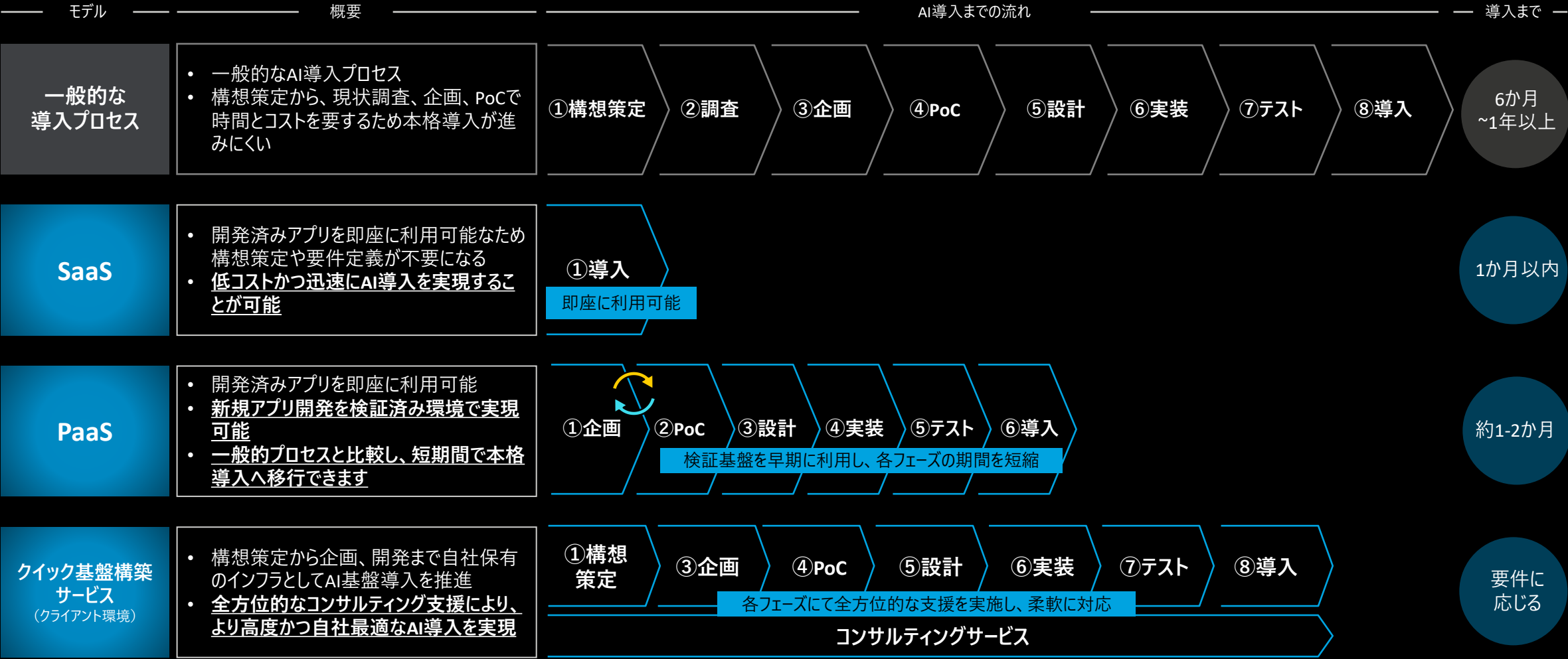
提供モデル比較

	①SaaS	②PaaS	③クイック基盤構築サービス (クライアント環境)
バリュー・ニーズ	開発不要でお手軽にAIアプリを導入	検証・データ投入を通して実践的なAIアプリを開発	フルカスタマイズで自社要件に合ったAIアプリ・基盤を構築
保有主体	デロイトトーマツ	デロイトトーマツ	自社 自社資産として基盤構築
リードタイム	◎ アカウント払い出しでAIアプリを利用可能	○ 環境設定のみでAIアプリ+検証基盤利用可能	△ AI基盤・データ基盤+AIアプリを構築段階から支援
カスタマイズ性	△ 既存アプリを使用可能	○ アプリ個別開発+基盤設定変更可能	◎ 可能な限り業務/システム要件に基づきアプリ・基盤開発可能
セキュリティ	○ デロイトトーマツ検証済のセキュアな環境を提供	○ データ保護も対応したセキュアな環境を提供	◎ 自社基盤として完結した強固なセキュリティ環境を構築
コストモデル ※4月以降 順次正式決定	従量課金 利用ユーザ数・ 規模に応じて従量課金	月額費用+従量(+オプション) 月額金額と利用量に応じた金額+ オプション機能・環境を選択可能	初期費用+コンサルフィー 各社の要件に応じて変動
イメージ図	A社 共通環境にてAIアプリを利用可能	B社 共通環境にてアプリ・基盤を利用 C社 共通環境に個社開発アプリを接続	D社 自社環境にてAI基盤・アプリを構築



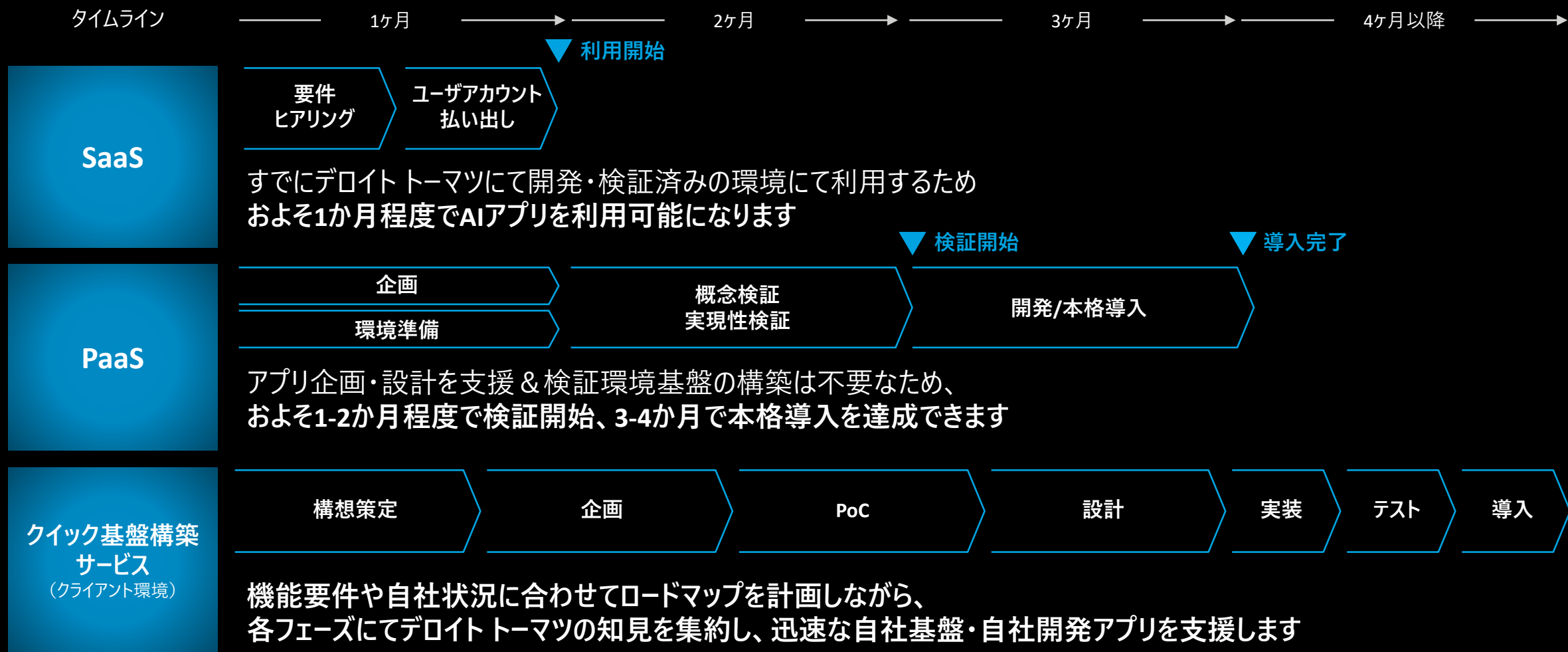
AI基盤の迅速な導入により、検証・本格導入フェーズにおける 基盤構築の負担を軽減し、早いタイミングでユースケース検証や企画検討へ移行できます

AI FaaSによるAI導入プロセスの変化

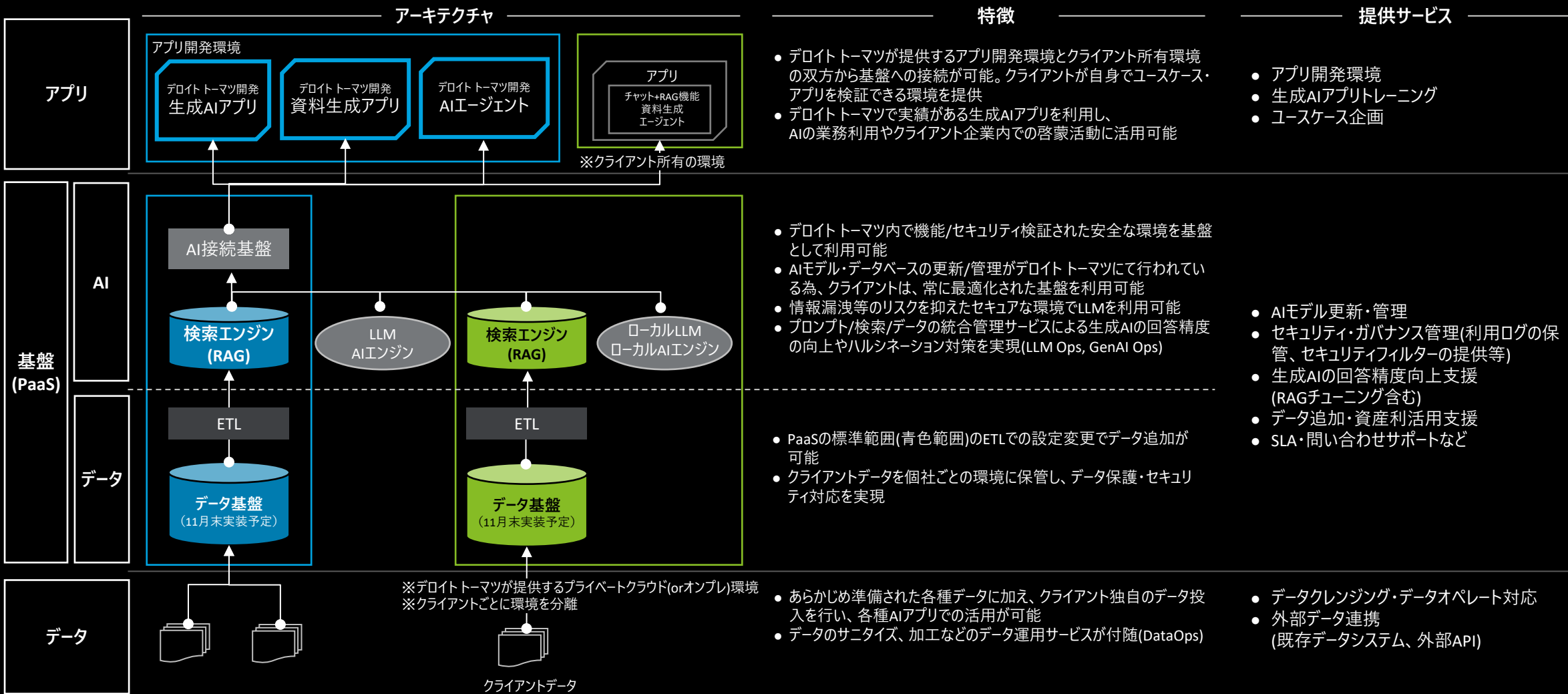


SaaSモデルではおよそ1か月程度でAIアプリ利用可能、PaaSモデルではおよそ 1-2か月程度で検証基盤が利用可能となり、迅速なAI開発・導入を実現します

サンプルスケジュール



PaaSでの対象範囲



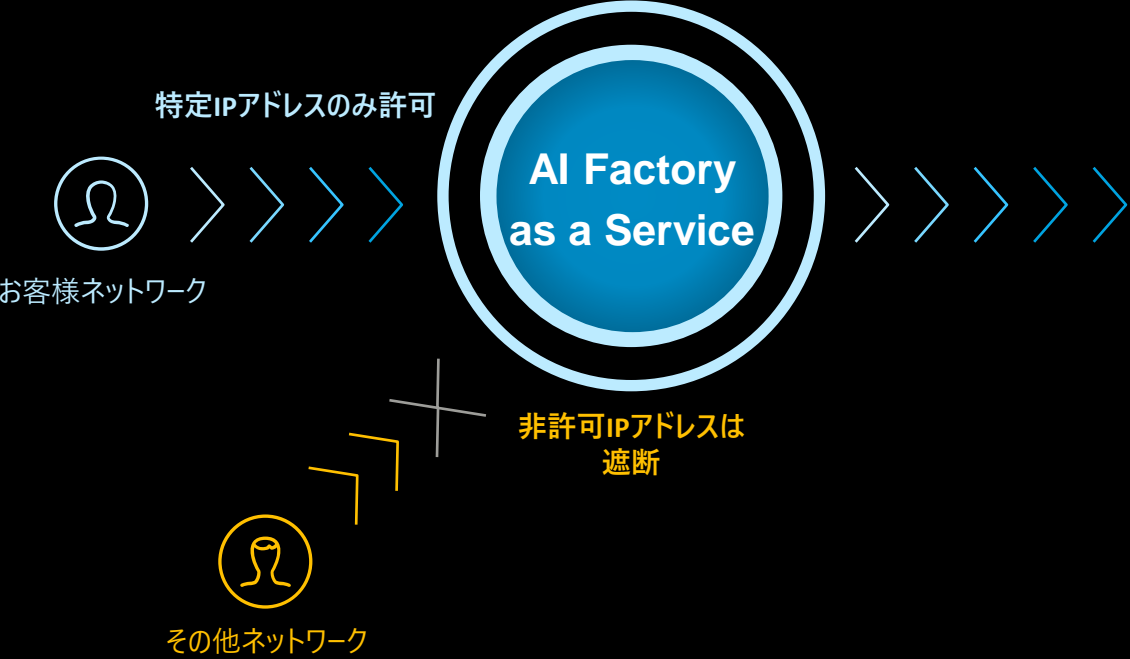
IPアドレス制限とユーザー認証(ID/PW)+多要素認証の組み合わせによって、安全なアクセス環境を提供します

アクセス制御

ネットワークレイヤー

ホワイトリスト方式を採用

- 特定の信頼されたIPアドレスのみアクセスを許可
- それ以外のIPアドレスからのアクセスを遮断



アプリケーションレイヤー

以下ID/PW+多要素認証でセキュリティに配慮した認証

- ユーザー認証に登録されたID/PW
- 多要素認証を導入し、PW漏洩時でも不正アクセスを防止



4. デロイト トーマツにおけるAI活用実績

デロイト トーマツでは、早期に生成AI推進に必要な体制をCxO直下に構築し、推進や拡大に必要な施策・機能追加を行い、生成AIの成果の最大化を進めています

デロイト トーマツ 生成AI導入の歩み

デロイト トーマツでは、2023年からはCxO直下に特任チームを設立し、トップダウンでグループ横断でAI活用を推進。

2025年7月時点で、約12,500人が生成AIを活用し、グループ全体の稼働時間削減は約10万時間/月*に到達しました。

準備期

- CxO配下に推進体制を構築
- 生成AI導入後のありたい姿を設定

導入期

アクティブユーザー 1,000人～

- 初期立ち上げ
 - ・ 技術検証とユースケース検討
 - ・ アプリの早期リリース
- チェンジマネジメント
 - ・ 育成研修
 - ・ 社内メルマガ/ウェビナー

(2023年6月～)

立上期

アクティブユーザー 1,500人～

- 生成AIの活用領域を拡大
 - ・ データ利用ガイドライン改訂
 - ・ 生成AIデータ基盤導入(RAG)
 - ・ 機能/アプリの追加リリース
- 生成AI活用に関するKPIモニタリングを開始

(2023年9月～)

拡大期

アクティブユーザー 3,000人～

- 生成AIのプロフェッショナルワークへの適用・展開(使いこなし)
- 生成AI基盤の継続的成長と陳腐化を防ぐため運用チームの組成(Xops)

(2024年7～)

成果創出期

アクティブユーザー 10,000人～

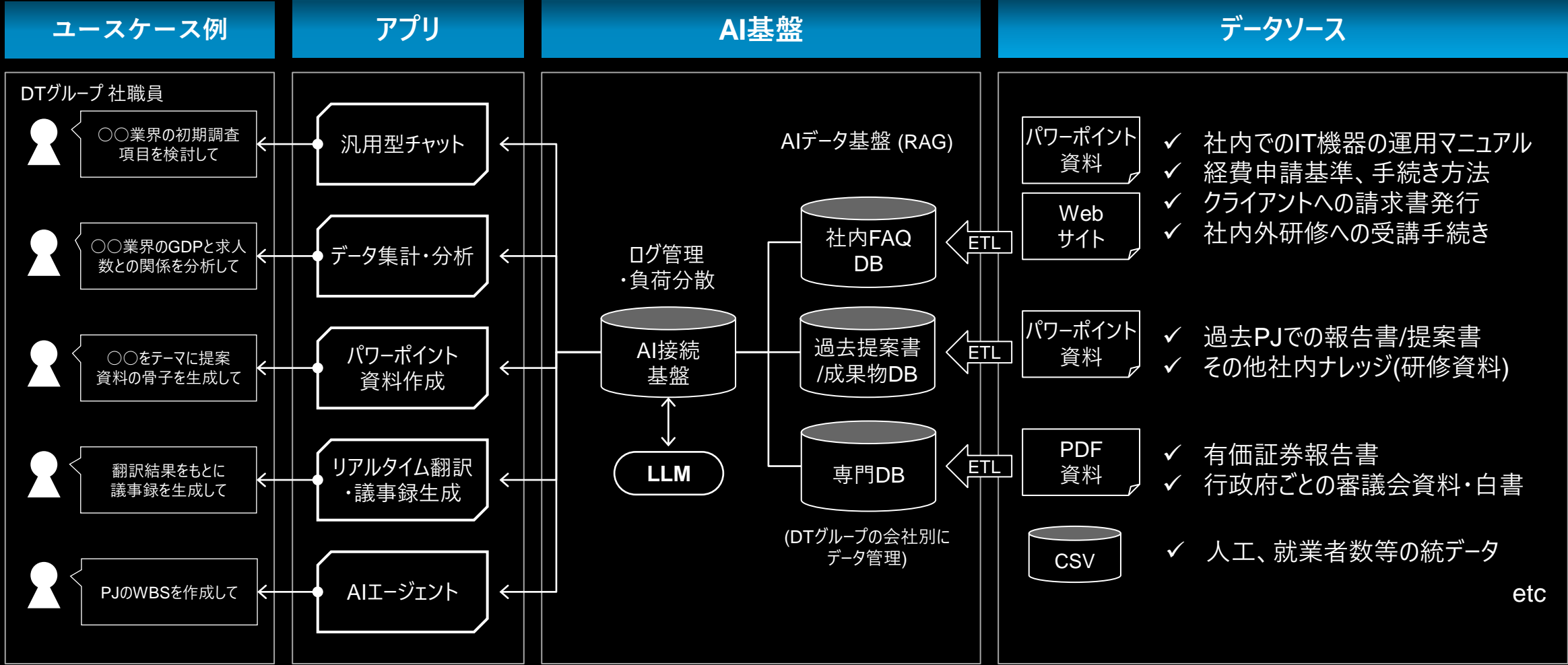
- 更なる成果創出を目的に、AIエージェントを提供開始
- 全ての組織にて、パイロットプロジェクトを選定し、タスクごとの生成AI活用効果を計測開始
- 生成AI活用効果を前提とした、プロジェクト内の人員体制を最適し、組織の売上、利益目標に反映

(2025年1月～)

*約12,500人の利用者に対して、利用者一人あたりの平均質問回数、プロンプト分析および実測から推計した平均稼働削減時間、更問を踏まえた正答率を掛け合わせて算出した推計値 (紹介ページ) <https://www2.deloitte.com/jp/ja/blog/ai-institute/2024/ai-utilization.html>

デロイト トーマツでAI利用に関する社内ユースケースを洗い出し、それらに必要なデータソースをAI基盤に投入し、必要となるアプリケーションを徐々に開発していき、ツールを発展させていきました

生成AIツールの発展



AI変革は、単発の導入ではなく、全体を見据えた継続的な進化です。デロイト トーマツは、自社の変革実績を基に、貴社の現状に合わせた最適なプロフェッショナルサービスをご提供します

AI変革フェーズごとの期待値、主な取り組み内容

		導入期 (AIの可能性を探索)	立上期 (RAGで自社データ活用)	拡大期 (AIEージェント×業務組込)	価値創出期 (自社システム化・ROI最大化)
クライアントの取組	対象とする業務レベル	<ul style="list-style-type: none">自己完結型業務	<ul style="list-style-type: none">共通型業務	<ul style="list-style-type: none">部門改善活動	<ul style="list-style-type: none">全社変革プロジェクト
	AI導入に対する期待値	<ul style="list-style-type: none">全社で安全に使える環境を整備「使ってみる」文化を醸成	<ul style="list-style-type: none">社内データをAIで活かし内製活用を広める	<ul style="list-style-type: none">業務プロセスにAIを組込みBPRや業務改善を推進	<ul style="list-style-type: none">AIを経営インフラ化し価値創出を最大化する
	主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none">Copilot等の全社展開利用ガイドライン整備成功事例の共有	<ul style="list-style-type: none">RAG基盤の構築文書・議事録・FAQを学習ナレッジ検索精度向上	<ul style="list-style-type: none">AIEージェント導入による社内業務プロセスの自動化プロセス標準化	<ul style="list-style-type: none">マルチエージェント運用による全社レベルでのROI最大化新規事業創出
		↑ 提案	↑ 提案	↑ 提案	↑ 提案
デロイトの提供価値	コンサルティングサービス	<ul style="list-style-type: none">全社的な生成AIツール展開プログラムの実行支援、AIガバナンス	<ul style="list-style-type: none">RAGによる社内情報資産の価値最大化支援	<ul style="list-style-type: none">AIEージェントによるBPR・業務改善とチェンマネ/組織再編支援	<ul style="list-style-type: none">AI経営変革に関する構想支援AIOps最適化、実装支援
	ソフトアセット	<ul style="list-style-type: none">ガイドラインプロンプト集	<ul style="list-style-type: none">育成に活用できる勉強会資料eラーニング	<ul style="list-style-type: none">ローコードツールデモアプリ(200種)	<ul style="list-style-type: none">-
	XOps	<ul style="list-style-type: none">SysOps	<ul style="list-style-type: none">DataOps、RAGOps	<ul style="list-style-type: none">AgentOpsDevOps	<ul style="list-style-type: none">AgentOpsDevOpsAIOps
	アプリ・基盤	<ul style="list-style-type: none">チャットBot型アプリ資料作成	<ul style="list-style-type: none">RAG(データ基盤)	<ul style="list-style-type: none">Diffy等のローコードツールアクセス権管理付きRAG	<ul style="list-style-type: none">クライアント環境でのAI基盤等のクイック基盤構築、保守運用、XOps

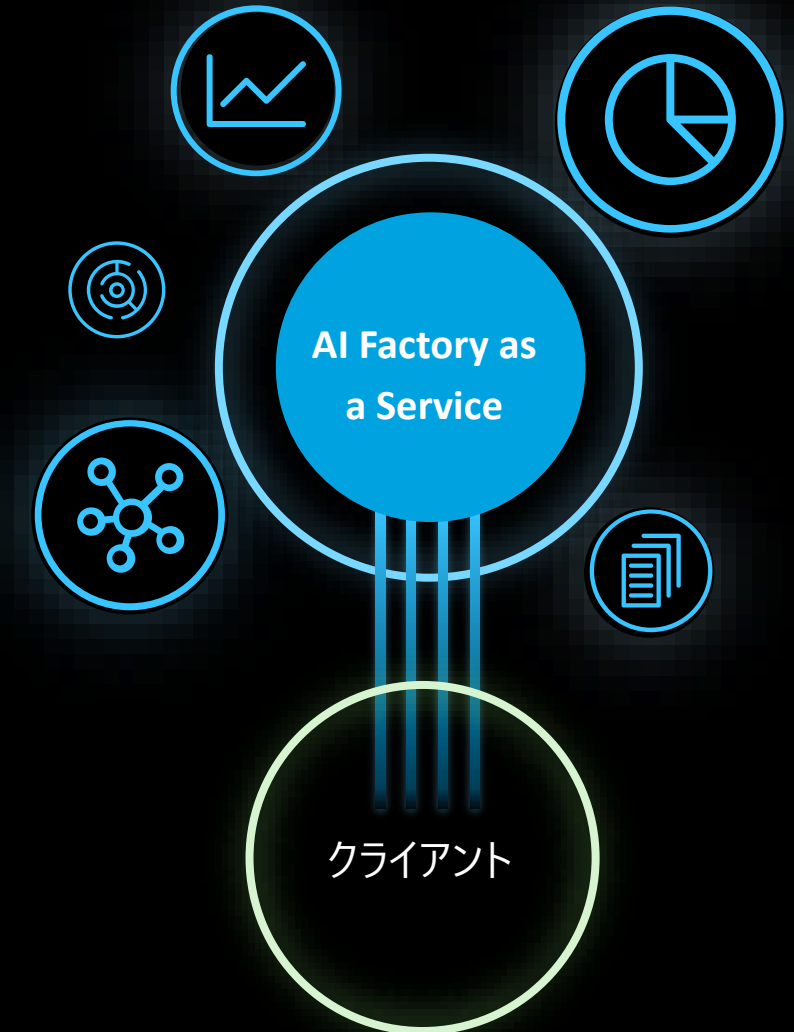
デロイト トーマツで培ったノウハウを、AI Factory as a Serviceへ展開・転用していき、クライアントでの業務効率化、生産性向上、新たな価値創出をサポートしています

実績を活かしたクライアント向けAIサービスの展開

デロイト トーマツで培ったAIツールのノウハウや活用実績は、順次「AI Factory as a Service (AI FaaS)」に反映されます。AI FaaSでは、社内で実際に活用・発展させてきたAIアプリや基盤、業務特化型AIエージェント、ノーコードツール等をクライアント向けに展開します。これにより、クライアント企業はデロイト トーマツの実績に基づく最先端のAI活用環境を迅速かつ安全に導入でき、業務効率化・生産性向上・新たな価値創出が可能です。デロイト トーマツのAIノウハウが、AI FaaSを通じてビジネスの未来を切り拓きます。

AI FaaSとしてクライアントが得られる具体的なメリット

- 業務効率化・生産性向上の実績
- 具体的なAIツール・アプリの提供
- AIエージェントの導入と業務特化型AIの今後の展開
- 効果測定と改善サイクル
- セキュリティ・権限制御



デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーである合同会社デロイト トーマツ グループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、合同会社デロイト トーマツ、デロイト トーマツ 税理士 法人およびDT 弁護士 法人を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナル サービスを提供しています。また、国内30都市以上に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。Deloitte Globalおよびその各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Globalはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Globalのメンバーファームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDeloitte Global、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対しても責任を負いません。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。



ISO 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲はこちらをご覧ください

<https://www.bsigroup.com/clientDirectory>

MAKING AN
IMPACT THAT
MATTERS
since 1845